

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生に対して、教育目標と習得すべき学習成果を明示化する。	→使用できるすべての媒体での明示化。	B	B	B	B	B
2. 授与される学位と学位授与方針を学生に明示する。	→履修心得への明記。	D	B	A	A	A
3. 教育目標、方針、課程、および学位授与方針に関して、学部関連のすべての広報媒体で社会に公表する。	→大学ホームページ、入試案内やパンフレットなど、関連する媒体のチェック。	B	B	A	A	A
4. 教育目標、方針、課程および学位授与方針の達成状況について、教職員、学部生が評価する。	→学生や教職員に対するアンケートや聞き取り調査の実施。	D	C	C	C	C

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部では、2009年度～2013年度の中期的な目標を立てて、ホームページや履修心得等、あらゆる媒体を通して学生に対して教育目標および修得すべき学習成果を示してきた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 目標は概ね達成されている。多くの学生が本学部教育目標と学習成果を認識している。課題は、学生自身が目標成果を強く意識し、勉学へのモチベーションを高めることである。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 教育目標と習得すべき学習成果については、講義や演習において教員が適宜学生に喚起することで、目標の達成を実現していく。	☆
		その他	☆

目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部は、2009年度～2013年度の中期的な目標を立てて、取得できる学位と学位授与方針を学生に示してきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 履修心得で取得できる学位と学位授与方針を明記しており、学生に理解されている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も学位授与方針について学生が理解を深められるように周知に努める。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部は、2009年度～2013年度の中期的な目標を立てて、教育目標、方針、課程、および学位授与方針を学部関連の広報媒体を通して社会に公表してきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ホームページや履修心得等の媒体において、教育目標、方針、課程、および学位授与方針の公表は徹底されている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も継続して、学部に関連するあらゆる広報媒体において、教育目標、方針、課程、および学位授与方針を明示する。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
目標4	C	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 本学部は、2009年度～2013年度の中期的な目標として、教育目標、方針、課程、および学位授与方針の達成状況について教職員と学部生が評価できる体制づくりに努めてきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か この目標の達成にはまだしばらく時間がかかり、評価枠組の検討をしているところである。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 学生や教職員に対するアンケートや聞き取り調査の体制づくりを詰めていく必要がある。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>せて</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
備考			☆